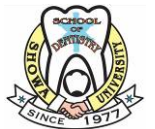




発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



巻頭言

歯学部長 宮崎 隆

平成27年度昭和大学入学式が、去る4月6日(月)午前10時より、新緑に囲まれた明治神宮記念館に於いて厳肅に執り行われました。先週満開の桜(染井吉野)は前日の雨でだいぶ散りましたが、当日は天気も回復し、桜に囲まれた華やかな式典となりました。今年度の新生は、医・歯・薬・保健医療学部合わせて、585名(編入生を含む)でした。昭和大学管弦楽団による演奏に引き続き、小出良平学長の告辞と小口勝司理事長の祝辞がありました。新生代表の保健医療学部 鈴木哲理君のリードで、新生ならびに昭和大学関係者全員で、昭和大学宣言を唱和しました。新生歓迎行事実行委員(医学部 片岡和之君、歯学部 田林万奈さん)の歓迎の挨拶に引き続き、恒例になった応援指導部による新生歓迎演武があり、最後にグリークラブのリードで校歌を斉唱し閉会しました。昼前に新生はバスに分乗して、富士吉田校舎に向かいました。新生が、学友との共同生活を通じて富士吉田校舎で多くの経験を積んで、大いに成長することを期待しています。



我が国が超高齢社会に突入したなかで、高齢者医療の充実を待たなすです。本歯学部では高齢社会の長寿健康に貢献できる資質の高い歯科医師を育成することを目標に掲げ、組織の改変や教育改革を進めてきました。本年度も本学の最大の特徴であるチーム医療教育の充実を図り、高齢者歯科医療教育を一層推進します。平成24年度から文部科学省の事業として、北海道医療大学、岩手医科大学ならびに地域歯科医師会と協同で進めている「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」プロジェクトとともに、昨年度からスタートした岡山大学を主管とする「課題解決型高度医療人材養成プログラム:健康長寿社会を担う歯科医学教育改革プロジェクト」への参画を含めて、高齢者歯科医療教育の充実を図ります。

本年も新しい教育資源の開発や教育装置の活用を図ります。昨年度は高齢患者シミュレーターで実践的に高齢患者の病態把握やフィジカルアセスメントの訓練を行い、臨床実習終了時のiOSCAでも活用しま

した。昨年度末にはデジタル歯科に関わる教育装置を多数導入したので、今年度はその活用を進めます。旗の台校舎では歯科保存学の基礎実習に光学印象とCAD(コンピュータ画面上での設計)を取り入れます。歯科病院の中央技工室には世界標準の主要なCAD/CAMシステムを網羅したので、補綴歯科やインプラント歯科の臨床実習に活用します。

歯科病院での臨床実習では、引き続き電子ポートフォリオを導入して、診療参加型実習の充実を図ります。さらに、医学部附属病院の口腔ケアセンター、頭頸部腫瘍センター、歯科・歯科口腔外科を活用して、チーム医療の実地教育をする予定です。

今年度も本歯学部における教育のさらなる充実に、関係者のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



大学院入学式が挙行されました

歯学研究科運営委員長 井上 富雄

平成27年度大学院入学式が4月4日に上條講堂で医歯薬保の4研究科合同で開催されました。歯学研究科は一般選抜20名、社会人特別選抜7名の合計35名でした。また昨年度に引き続いて今年度も、学生時代に大学院の単位を取得する「マルチドクタープログラム」の修了者1名が大学院に入学しました。その後場所を2号館第3講義室に移して、入学者を対象にオリエンテーションを行い、「マルチドクタープログラム」を今年度から受講する8名の学部学生もオリエンテーションに参加しました。井上運営委員長から、研究を開始するにあたっての心構え、研究倫理の順守および単位取得における注意事項などの説明、佐野副運営委員長からマイク先生による英語の授業の概要と注意点の説明を受けました。新入学の諸君が立派な業績を上げて、本学歯学部の研究活動を推進するとともに歯科医学の発展に貢献するよう願っています。



白衣授与式 進級式が行われました

教育委員長 美島 健二

平成27年度昭和大学歯学部白衣授与式が3月30日(月)の午前9時45分より上條講堂にて行われました。本年度は98名の新5年生が真新しい白衣に袖を通すこととなりました。式の司会・進行は臨床実習責任者の長谷川教授により行われ、教育委員長による開式の辞の後、校歌斉唱、宮崎歯学部長からの告辞と進みました。次いで、8名の臨床系教授・部門長から学生に順次白衣が授与されました。学生は緊張した面持ちで教員から渡された白衣の袖に手を通していましたが、白衣を着終わり整列した学生の表情は引き締まり、臨床実習を前に気持ちを新たにしました。続いて小出学長、榎歯科病院長、相澤歯科病院看護師長から御祝辞が述べられました。また、実際に臨床研修を終えられた下村先生が、自身の経験談をまじえた先輩からのアドバイスをされました。その後、新5年生の北村君に続き、出席者全員が声を合わせて昭和大学宣言を読み上げました。最後に、馬場副病院長による閉式の辞のあと、桜が満開の上條講堂前で記念撮影が行われました。

次に、進級式は2年生が3月2日、3日、5年生が同23日、3、4、6年生が4月1日に講義室でそれぞれ実施されました。進級式では、学部長の挨拶、学年主任・副主任の紹介、履修要項の説明、学生生活の注意、学務課からの連絡などに加えて、学年によっては共用試験の説明や総括講義・臨床研修の説明なども行われました。



昭和大学入職式が行われました

歯学部長 宮崎 隆

東京の桜が満開の4月1日に、学校法人昭和大学平成27年度入職式が、午前10時から上條講堂で開催されました。本年度採用された新入職員は、教育職員192名、内科研修医30名、研修医(医学部)78名、研修医(歯学部)76名、事務員35名、看護師・助産師438名、薬剤師レジデント38名、診療放射線技師24名、臨床検査技師5名、臨床工学技士6名、その他の医療技術系職員32名の合計954名で、昨年度よりも30名強増えました。入職式には、会場の都合で教育職員は出席していませんでしたが、歯科病院で研修をする研修歯科医師は2階席に出席していました。

式典は昭和大学管弦楽団の演奏で厳かに開式しました。法人役員が登壇し、最初に小口勝司理事長から「本

学は社会に貢献するすぐれた医療人を育成する大学なので、全ての新入職員が医療を通じて社会に貢献するとともに、学生や後進の教育にも責任を持って欲しい」と挨拶がありました。引き続き小出良平学長から、大学の歴史を交えて新入職員を激励する挨拶がありました。小口理事長から新入職員代表の千葉 汀さん(看護師、大学病院勤務)に辞令が交付され、千葉さんが新入職員宣誓をしました。佐藤 駿さん(事務職員)のリードで参加者全員が昭和大学宣言を唱和し、引き続き校歌を斉唱して10時半に閉会しました。入職式終了後には、人権啓発推進課の山口課長の人権啓発に関する講演がありました。

新入職員におかれましては、それぞれの職場で、同僚・上司の指導のもと、本学の発展のために鋭意努力されますようお願い申し上げます。



東京都歯科医師会と昭和大学との歯学部学生教育に関する協定が締結されました

学生部長 上條 竜太郎

4月22日、東京都歯科医師会と昭和大学との歯学部学生教育に関する協定の調印式が昭和大学で開催されました。東京都歯科医師会の高橋哲夫会長と鈴木賢司総務課長、昭和大学から宮崎 隆歯学部長、美島健二歯学部教育委員長、佐藤 誠学事部長、歯学部学生部長の上條が調印式に臨みました。

昭和大学歯学部は、地域の歯科医療を担う人材育成をめざし、これまでに、1年次において山梨県歯科医師会との連携の下に地域連携歯科医療実習(歯科医院見学)、昨年度からは東京城南地区の各歯科医師会のご協力を得て、3年次の地域連携歯科医療実習を行っています。今回の東京都歯科医師会との協定により、今後5年次の臨床実習において在宅訪問診療を含めたさらに充実した実習を進める予定です。

宮崎歯学部長と高橋会長が協定書に署名した後、それぞれからのご挨拶と同席した教授会メンバーを含め、意見交換が行われました。宮崎歯学部長は、地域歯科医療実習を通じて、昭和大学が目指す社会に貢献できる質の高い医療人の育成を一層進めることができると本協定への期待を述べられました。また、高橋会長は、モチベーションの高い若い歯科医師そして生涯医療人を育成するために協力を続けたいと抱負を述べられました。



至誠塾入塾式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

去る4月8日(水)午後6時から、旗の台校舎1号館5階カンファレンスルームにおいて、至誠塾の入塾式が開催されました。今年の新入塾生は7回生で、教育職員、事務職員、および看護師ほかの多様な医療職に従事している15名の新入塾生を迎えました。歯学部関係では、口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門の栗原 祐史先生が入塾しました。

至誠塾は小口勝司理事長の発案で、将来の学校法人のリーダー育成のために設置されました。2年間のコースで、1年目は学務、病院、法人の管理運営全般に亘り、毎週水曜日に講義とグループ討論を通じて、塾長の小口理事長、ならびに副塾長(小出学長ほか)の先生がたから直接指導を受けます。2年目は各自の研究テーマを決めて1年間でプロダクトをまとめます。すでに多くの修了生が本学の各職場で活躍しています。

入塾式終了後、会場を喫茶アミに移し、2年生に在籍の6回生(歯学部関係では、山口徹太郎先生と茂木香苗さん)を交えて歓迎会を開催し、懇親を深めました。毎週水曜日の夜に、日常業務のあとに慣れないテーマを学習するのは大変ですが、最後まで頑張りたいと思います。



UBC 歯学部国際交流担当のシャー博士が来学されました

口腔微生物学講座 桑田 啓貴

4月13日から16日までの日程で、カナダのブリティッシュコロンビア(UBC)大学歯学部(本歯学部と交流プログラム締結校)国際交流担当シャー博士をお招きしました。歯学病院の見学の後、学部2年生から5年生までのそれぞれを対象とした英語での講義を行っていただきました。内容としては、前半にシャー先生による国際交流に対する考え方とこれに取り組む歯学部の学生のあり方についてお話しいただき、後半でシャー先生との直接対話による学生の英語でのコミュニケーション訓練が行われました。時間と共にだんだん慣れ、うまくしゃべる学生も見られるようになりました。また同日、シャー先生の講義に続いて、海外からの3名の留学生による自己紹介とそれぞれの国

の歯学部の様子や歯科医療の現状について講演を行っていただきました。15日には教員を対象とした教育講演を行っていただきました。ここでは、昭和大学の建学の精神である「至誠一貫」を引用しつつ、国際交流のあり方についてわかりやすい講演を行っていただきました。最後の16日には、国際交流センター主催で13号館「フラッグ」において、他学部学生および留学生を交え、シャー先生を送る会が開かれ、国境と学部を越えた交流会が行われました。今後これを機に、海外選択実習および海外留学を目指して、より積極的に国際交流に取り組む学生が増えることを願っています。



富士吉田教育部兼務教育職員に就任しました

歯科薬理学講座 高見 正道

本年度より前任の弘中祥司教授に代わって、富士吉田教育部兼務教育職員に就任いたしました。4月6日に入学式が明治神宮会館でおこなわれ、翌日は富士吉田校舎での入寮式に参加いたしました。私にとって4学部の新入生が一同に集う光景を見たのは初めてで、その人数の多さと若いエネルギーに圧倒される思いがしました。私たち職員が新入生に期待していると同じように、新入生も昭和大学に大きな希望と夢を抱いていることが伝わってくるようでした。校舎内には体育会系および文科系各部が作製した非常に手の込んだ部員勧誘ポスターが掲示され、歓迎ムードに溢れていました。また、4月11日のウェルカムパーティーにも出席し、歓迎の本格的な打ち上げ花火を見ながら、新入生の皆さんの明るい未来を祈りました。これから歯学部教育職員の代表の一人として、富士吉田での教育にできる限りの力を注いで参りたいと思いますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



ボストン大学に研究留学しました

高齢者歯科学講座 竹内 沙和子

私は、平成25年7月から平成27年5月まで、ボストン大学歯学部補綴学教室(バイオマテリアル)に研究留学しました。ボストン大学には、毎年、世界130カ国から5000人程留学生が勉強しに訪れています。1963年に世界で初めて歯科大学院を設立したことで有名です。

留学先での初めの一年は、Dr.Chou の教える学部生の口腔医学講義と CEREC CAD-CAM システムや材料の開発に携わっている Dr. Giordano の大学院生への講義に出席、そしてバイオマテリアル教室の学生への研究アシスタントをしていました。二年目からは独自の研究テーマを、ディレクターである Dr. Nathanson に提案していただき、高齢者歯科教育に関する研究を始めることになりました。そこで、ボストン大学の高齢者歯科医である Dr. Calabrese と Dr.Rawal を紹介していただき、昭和大学高齢者歯科学講座の佐藤教授と北川准教授と共同で行うことになりました。合わせて、実際の臨床現場(リハビリテーションセンターなど)を見学しました。私の研究テーマである『高齢者歯科学教育に関するグローバルな調査』を今後も継続し、来年の IADR やアメリカのスペシャルケア学会で発表する準備をしています。

この二年間、大きなトラブルもなく充実した留学生活を送ることができ、素晴らしい経験を積むことが出来ました。これはひとえに宮崎学部長をはじめ、高齢者歯科学講座の佐藤教授、医局員の先生方、そして昭和大学の皆様のお蔭です。ありがとうございました。



行事予定

広報委員長 中村 雅典

5月31日(日):学祖祭

6月13日(土):父兄会総会

6月27/28日(土,日):富士吉田祭・オープンキャンパス

昇任・採用

広報委員長 中村 雅典

根岸貴子講師(歯科薬理学講座)、松本貴志助教(病院長直属)、横山紗和子助教(歯科補綴学講座)

上條旗ヶ岡賞特別賞を受賞しました

昭和大学研修医 道家 碧

先日の卒業式におきまして、上條旗ヶ岡賞特別賞を受賞させて戴きました。自分の身に余るような、滅多に戴けない賞状だという事で、非常に恐縮の思いです。これまでも留学など国際交流に参加したり、学園祭実行委員、国家試験対策委員長を務めたりと、実に色々な経験をさせていただきましたが、学生生活最後の年に SCRIP 優勝という形で母校に華を添えることが出来て本当に光栄です。



しかし、受賞の陰には桑田先生、深町先生をはじめとする先生方、学園祭実行委員、国家試験対策委員など実に様々な人の支えがあったことを決して忘れてはなりません。特に、忙しさにパンクして消炭(ケシズミ)のようだった私を支えてくれた同期の谷口飛鳥さんには一生頭が上がりません。

4月からは昭和大学歯科病院で働き始めますが、学生生活のなかで培った人との絆を大切にしていきたいと思っております。6年間育てて戴き、本当にありがとうございます。

平成27年度科学研究費補助金交付内定状況

歯学部研究活動員会 上條竜太郎

去る4月1日、文部科学省と日本学術振興会は、平成27年度科学研究費補助金の交付内定を公表しました。歯学部全体の交付内定状況は下表の通りで、平成26年度と比較して、交付内定件数は約5%減少(4件減少)したものの、交付内定金額は5%増加(660万円増加)しました。なお、ご不明な点は、歯学部研究活動委員会、財務部研究助成課にお問い合わせ下さい。

	平成26年度			平成27年度		
	採択件数		内定金額 (千円)	採択件数		内定金額 (千円)
新規	継続	新規		継続		
基盤研究A	0	0	0	0	0	
基盤研究B	3	1	18,700	2	4	28,300
基盤研究C	9	28	43,000	15	24	44,400
若手研究B	11	20	36,600	14	15	36,200
研究活動スタート支援	5	7	12,000	申請中	5	4,900
挑戦的萌芽研究	2	5	8,300	5	3	11,400
合計	30	61	118,600	36	51	125,200

編集後記

歯科薬理学講座 坂井 信裕

年度始めのお忙しい時期にも関わらず、ご寄稿下さいました諸先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。